

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 26 年 8 月 20 日
 理事長 松山 良一

2,000 名規模の国際会議の日本初開催(アジアでも初)決定！

(概要)

今般、アジアで初となる世界牛病学会の、2018 年日本開催(札幌)が決定しました。参加予定人数 2,000 名のうち、海外参加者は 1,500 名が見込まれています。

- 7 月 29 日にオーストラリアのケアンズで開催された WBC2014 において、WAB 理事会における競合国(南アフリカ、メキシコ、スペイン)との比較審議の結果、開催が決定したものの。
- 開催決定に当たり、JNTO は、札幌コンベンションビューローと連携し、関連団体、関連企業など産学官一体となって、誘致活動を展開しました。
- 札幌市では、2015 年 7 月に、これもアジア初となる第 5 回国際野生動物管理学会(1,040 人)の開催が予定されていますが、北海道は、国内でも産業動物臨床医や乳牛養頭数の多い点が評価され、世界の中のアジア、またその中での日本の獣医療に対する関心の高まりが、今回の開催地決定の大きな要因になったものと考えられます。

国際会議の開催は高い経済効果だけではなく、当該分野における日本のプレゼンスの向上、都市のブランド力向上を生み出します。JNTO では、引き続き、国際会議誘致、会議開催を通じた訪日外国人数増加に向け、取り組んでまいります。

会議名	和文) : 第 30 回世界牛病学会 2018 英文) : World Buiatrics Congress (WBC2018)		
日本側主催団体	日本産業動物獣医学会等		
概要と主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・世界牛病連盟(World Association for Buiatrics; WAB)は、牛、めん羊(ヨウ)、水牛、ラクダなど反芻家畜の疾病に関する診断、予防治療などに関する世界規模での情報を共有するために、世界牛病学会(World Buiatrics Congress; WBC) を 2 年に 1 回開催している。 ・同連盟が開催する世界牛病学会は、家畜生産に寄与する発展途上国の若手研究者の育成、動物福祉を基本とした畜産事業にも貢献している。 		
開催都市(会場)	札幌市(札幌コンベンションセンター)	予定開催期間	2018(平成 30)年 8 月
参加予定人数	2,000 名(海外:1,500 名 国内:500 名)	予定参加国数	約 60 カ国
誘致活動	<ul style="list-style-type: none"> ・JNTO と札幌コンベンションビューローは学会キーパーソン招請の協力をするとともに、JNTO では国内立候補地選定に際しての情報提供や農林水産大臣・観光庁長官・JNTO 理事長名の招請状を发出。札幌コンベンションビューローでは北海道知事、札幌市長の招請状发出やビッドペーパー、プレゼンテーション作成コンサルテーションの支援を行ったもの。 		

本件に関するお問い合わせ先

コンベンション誘致部(浅田) TEL:03-3216-2905